

## お一人での測り方

足長の測定



壁にかかとを付け、一番長い足指の先までをまっすぐ測ります。

足幅の測定



親指の付け根の一番出ている部分から小指の付け根の一番出ている部分までを直線で測ります。数値は真上からご確認ください。

足囲の測定



### 1人測定時の基本姿勢

1人で測る場合は、しゃがみ込んでお測り下さい。



親指の付け根の一番出ている部分から小指の付け根の一番出ている部分までをぐるっと一周測ります。締め付けないように注意して下さい。

## お二人での測り方

足長の測定



壁にかかとを付け、一番長い足指の先までをまっすぐ測ります。

足幅の測定



親指の付け根の一番出ている部分から小指の付け根の一番出ている部分までを直線で測ります。数値は真上からご確認ください。

足囲の測定



親指の付け根の一番出ている部分から小指の付け根の一番出ている部分までをぐるっと一周測ります。締め付けないように注意して下さい。

# 時見の靴

## 正しいサイズの測り方

測定にお困りの方は

0120-43-1192 までご相談下さい。

### 測定時の正しい姿勢

両足立ちで、両足に体重をかけて下さい。



### 測定時の間違った姿勢

片足に体重が偏っている。



不適正な靴を使用されると、下記のような足の疲れ、靴の破損を早めるおそれがあります。



カカトが空いたり、重心支点位置がずれると色々なトラブルが起こる事があります。

- ヒールの破損(取れる、折れる、片磨耗)
- カカトがガバガバする(靴ずれ)(転倒)
- 足が疲れやすい(シビレ・うっ血等)

### ご注意

その日の体調や計測する時間によって微妙にサイズが変わります(足のむくみ・生活環境・朝昼晩の時差等)。足の骨格や、肉付きにより最適な靴のサイズが変わったり、フィット感の好みにも個人差があります。ここで測定した足長・足囲・足幅は、あくまでも目安としてご利用下さい。2つの粹にまたがっていたり、左右の足のサイズが違う場合は、大きいほうのサイズを選ぶことをおすすめします。

# 足長・足囲・足幅の一覧

※あくまでも目安としてご利用下さい。(表示:mm)

ご自身の身足の足長と足囲と足幅がサイズ表のどこに位置するか知って頂き、そのあとで商品を吟味して頂ければと思います。また、測定は夕方(足のむくみのある状態)をおすすめします。

足囲が4E、足幅が6E等それぞれ違うワイズになっている場合、大きいワイズでご購入下さい。

あなたにピッタリの横幅はどれ? 23.5cmの場合



足長		3E		4E		5E(F)		6E(G)	
靴表示:cm	身足実寸	足囲	足幅	足囲	足幅	足囲	足幅	足囲	足幅
21.0	205~210	217	95	221	96	225	97	229	98
21.5	210~215	221	96	225	97	229	98	233	99
22.0	215~220	224	97	228	98	232	99	236	100
22.5	220~225	228	98	232	99	236	100	240	101
23.0	225~230	231	99	235	100	239	101	243	102
23.5	230~235	235	100	239	101	243	102	247	103
24.0	235~240	238	101	242	102	246	103	250	104
24.5	240~245	242	102	246	103	250	104	254	105
25.0	245~250	245	103	249	104	253	105	257	106
25.5	250~255	249	104	253	105	257	106	261	107
26.0	255~260	252	105	256	106	260	107	264	108

上記の数値は加重時です。\*数値は、小数点第1位を四捨五入し、明記してあります。

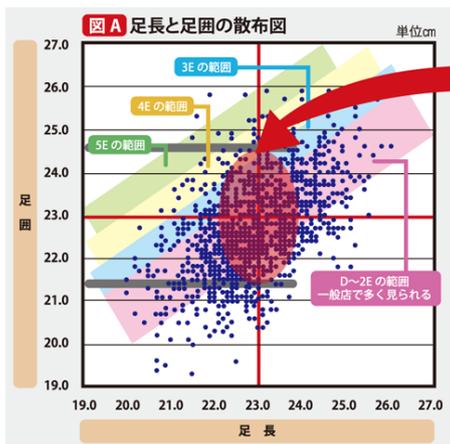
ご自身のサイズ記入にお使いください。足測定は お一人で お二人で されましたか?

左足	足長	足囲	足幅	足長	足囲	足幅	右足
	mm	mm	mm	mm	mm	mm	

## 本当のサイズよりも大きな靴を履いていませんか?

足長(全長)と足囲と足幅の関係を理解していただき、靴選びの目安にして下さい。

「本当は23cmだけど、欲しい靴の足囲に合わすと24cmしか履けない。」「デザインの気に入った靴は足囲がきつく感じるので、いつもより大きいサイズを買う。」「履きたい靴」を購入される上では、あらゆる状況だと思います。靴=ファッションのこの時代では当然のことです。弊社の取り組みは、第一に身足の実寸の計測→ご自身の足長と足囲と足幅を知って頂くことです。その上で、今後の購入の参考にして頂ければと思います。

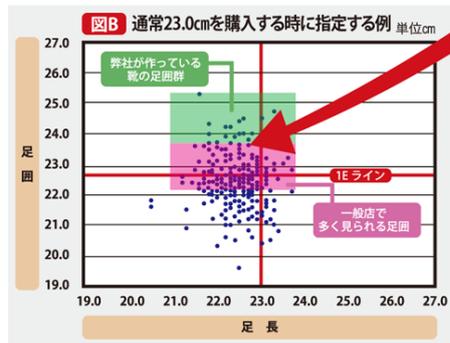


図Aは足長と足囲との相関図です。同じ足長が23.0cmの人たちの中でも足囲が約30mmもの差異が確認できます。

赤枠はD~2E(一般小売店等)  
青枠は3E  
黄枠は4E  
緑枠は5E  
この範囲は一般小売店ではほとんど取り扱われていないのが現状です。



※外反母趾の方は、上図では3E以上の範囲に入る方が多い。



図Bは「私は23.0cm」と思い、靴を購入されている方を計測した結果を表しています。図Bから分かる事は

被験者の密集している部分が、足長23.0cmのラインよりも小さい(足長の短い)方へ偏っています。身足(実寸)よりも大きい靴を購入されている方が多いようです。

23.0cmとされている方の中にも、足囲のパラつきがあるという点です。被験者の密集している部分は、赤枠内(図Aも同様に赤枠内)足囲で表すとD~2E辺りの方が多いうです。一般的に流通している靴もD~2Eまでがほとんどですが、身足の実寸(足長・足囲)と、靴が合致していない方も少なくないという事です。(図A:青枠・黄枠・緑枠、図B:緑枠に位置する辺りの方)

引用文献: 社団法人日本皮革産業連合会平成21年足サイズ計測事業報告書

**ご注意** 足長(全長)と足囲と足幅を見合わせし、ご購入頂いてもデザインの特質上で「ガバガバする」「きゅうくつだ」と感じる時があると思われま。

**!** 外反母趾の方へ。足長・足囲・足幅は合致しているのに、関節の所が痛いと感じる方は専門医とご相談下さい。

**!** ご遠慮下さい! ケガ・病気等で足が正常でないと思われる方は、ご購入をご遠慮下さい。